

# 祈りのきずな

7月

## ミカ書4章～マラキ書2章

仙川教会（東京） 副牧師 井馬佐紀子（いま さきこ）

### 1日(水)ミカ書4章1～5節

剣を打ち直して鋤とする。真の平和をもたらすのは人間の力ではなく、神さまの確かな言葉です。争いの絶えない世界ですが、主がすべてを治められる日は必ず来ます。この希望の約束を信じて祈り続けましょう。私たちも今日、自分の心にある小さな刃を下ろし、主の平和を待ち望みませんか。

京都教会と李海勲牧師(京都・京都市上京区)

### 2日(木)ミカ書5章1、4節

主ご自身が私たちの「平和」となります。私たちを脅かす問題に対して、神さまは完全で十分すぎるほどの守りを備えてくださる方です。自分の小ささや無力さに落ち込むとき、不安を覚えるときこそ、大いなる牧者である主を見上げましょう。主の確かな導きに包まれて、今日も安心して歩み出せますように。

北白川教会と軍司康博牧師(京都・京都市左京区)

### 3日(金)ミカ書6章6～8節

幾千のささげものより、主が求めておられるのは「正義を行い、慈しみを愛し／へりくだって神と共に歩むこと」です。私たちは特別な奉仕や立派な業で、神さまを喜ばせようと力んでいないでしょうか。主が願うのは、特別なことではありません。飾らないあなたの心を、ただ求めておられます。

北山教会と小櫻信牧師(京都・京都市北区)

#### 4日(土)ミカ書7章7～9、18～20節

厳しい裁きの先に希望を語るミカ書。闇の中においても主が光と  
なられます。自分の弱さや失敗にうづくまる日はありませんか。神  
さまは怒りを保たれず、主イエスによって私たちの罪を海の深みに  
投じてくださる方です。自らを責める手を止め、赦して再び光へ導  
き出す主を静かに待ち望みましょう。

大津教会と上田益之牧師(滋賀・大津市)

#### 5日(日)ナホム書1章7、13節

残酷な大国への裁きを語るナホム書。その名は「慰め」を意味  
します。暴虐への神さまの怒りは、愛する者を守る真剣さゆえです。  
理不尽な痛みの多い世にあって、主は私たちを縛る鎖を断ち切っ  
てくださいます。今日、恐れや重荷を手放し、絶対的な砦である  
主の守りと真の自由の中を歩みませんか。

新田辺伝道所と永藤裕幸牧師(京都・京田辺市)

#### 6日(月)ナホム書2章14節

栄華を極めた大国も、神さまの前では脆く崩れ去ります。私た  
ちの心にも、自分の力や業績を誇る「見えない城」を築いていな  
いでしょうか。人間の力で築いた城はいつか倒れます。今日、自  
分の内にある小さな高慢を手放し、ただ主の恵みによってのみ満  
たされる平安をいただきましょう。

びわこシャロームチャペルとお畑紀夫牧師(滋賀・守山市)

#### 7日(火)ナホム書3章5、18～19節

偽りと強奪に満ちた町への容赦ない言葉。神さまは、他者を踏  
み台にして得る成功を決して喜ばれません。私たちの何気ない日  
常の歩みは、誰かの犠牲や涙の上に成り立っていないでしょうか。  
痛い問いかけですが、主は隠れた悪にも立ち向かわれます。神さ  
まの真剣な正義こそが、私たちの真の慰めなのです。

四日市教会と辻真理子牧師(三重・四日市市)

## 8日(水)ハバクク書1章2節

バビロンの脅威が迫る時代。民ではなく神に直接「なぜ」と問いかけるハバクク書。私たちも理不尽な現実に、いつまで痛みが続くのかと叫びたくなる日はありませんか。神さまは綺麗に整えられた祈りだけでなく、心の奥底のありのままの叫びをも深く受け止め、向き合ってくださいのお方です。

愛知新生教会と<sup>しづたに</sup>濫谷和美牧師（愛知・<sup>にしかがい</sup>西春日井郡<sup>とよやまちょう</sup>豊山町）

## 9日(木)ハバクク書2章3～4節

正しい者はその信仰によって生きる。祈りの答えが遅く思えるとき、私たちは自分の力で解決を急ごうとします。しかし神さまの時は必ず来ます。今すぐ結果が見えなくても、主の真実を信頼し、待ち望む姿勢を保っているでしょうか。焦る心を静め、み言葉を土台として今日を歩み出しましょう。

南名古屋教会と山川明美・山川高平各牧師（愛知・名古屋市南区）

## 10日(金)ハバクク書3章17～19節

収穫がない絶望の中でも主によって喜ぶ。嘆きと問いかけから始まったハバクク書は、状況を超えた圧倒的な賛美で結ばれます。恵みが見えにくい日々に、あなたの喜びの源はどこにあるでしょうか。主ご自身が私たちの力となり、足取りを確かにしてくださいませ。変わらない神を見上げて歩みましょう。

瑞穂教会（愛知・名古屋市瑞穂区）

## 11日(土)ゼファニヤ書1章7、12節

不正や偶像礼拝がはびこり、人びとが神さまに不誠実だった時代。徹底的な裁きを警告するゼファニヤの厳しい言葉は、見せかけの平安を打ち砕くためのものです。「主は何もされない」と神抜きに日常に安住していませんか。自ら築いた砂の城を手放し、ただ主だけを頼りとする歩みに立ち帰りましょう。

<sup>ひらぼり</sup>平針教会と<sup>たにかせ</sup>谷総安雄牧師（愛知・名古屋市<sup>てんぱく</sup>天白区）

### 12日(日)ゼファニヤ書2章3節

裁きを警告しつつ、回復の希望を語るゼファニヤ書。私たちは日々、自分の力や知恵を頼りに生きていないでしょうか。主が探しておられるのは、ご自身を真っ直ぐに見上げる謙遜な心です。自分の無力さを知るときこそ、静かに主のみ前に心を低くして、真の助けを求めましょう。

東山教会と鈴木直哉牧師（愛知・名古屋市千種区）

### 13日(月)ゼファニヤ書3章17節

厳しい預言の結びは美しい希望です。神さまは私たちをただ赦すだけでなく、喜びの声をあげて歌ってくださるのです。自分の弱さに落ち込むとき、そっと耳を澄ませてみませんか。あなたを愛し、共にいることを喜ぶ主の優しい調べが聞こえてくるはずです。その愛に包まれて、今日を歩み出しましょう。

名古屋教会と酒井朋宏牧師（愛知・名古屋市千種区）

### 14日(火)ハガイ書1章4～5節

バビロン捕囚からの帰還後、人びとは生活に追われ神殿の再建を後回しにしていました。「自分らの家を優先し、神の家が廃墟のままでもいいのか」。この痛烈な問いかけは私たちにも響きます。忙しさの中で、神さまとの関係を後回しにしていますか。今日、自らの歩みを省み、生活の優先順位を見直しましょう。

豊橋教会と小林大記<sup>ひろき</sup>牧師（愛知・豊橋市）

### 15日(水)ハガイ書2章4、19節

「わたしは共にいる」「今日からあなたを祝福する」。落胆する民への励ましは、力強い祝福の約束で結ばれます。人と比べて自分がちっぽけに思えるとき。目に見える成果がすぐに出なくても、主を中心とした瞬間から恵みは注がれています。不安を手放し、神さまの確かな約束に身を委ねてみませんか。

岐阜教会（岐阜・岐阜市）

### 16日(木)ゼカリヤ書1章3節

ハガイと同じ時代に活動したゼカリヤは、不思議な「幻」で神殿再建に向かう人びとを励ましました。その原点は「わたしに立ち帰れ」という招きです。外側の建物を直す前に、内なる心を取り戻すこと。忙しさに流されそうな今日、まずは静かに主を見上げ、神さまの愛に立ち帰る一日としませんか。  
各務原教会と後藤<sup>ひさし</sup>寿<sup>かがみかはら</sup>牧師(岐阜・各務原市)

### 17日(金)ゼカリヤ書2章9～14節

城壁のない町に「わたしが火の城壁となる」と主は言われます。あなたは主の瞳のように大切な存在。主が共に住むとの約束を覚えましょう。目に見える守りがなく不安なときも、目に見えない主の深い愛が、今日あなたをすっぽりと包んでいます。安心してそのあたたかな胸に飛び込んでください。  
福井教会と平良憲誠牧師(福井・福井市)

### 18日(土)ゼカリヤ書3章3～4節

サタンに告発され汚れた衣を着た大祭司ヨシュアに、主は自ら美しい礼服を着せます。私たちも自らでは清くできません。あなたも「自分はダメだ」と責める衣を着ていませんか。主はありのままの弱さを受け入れ、一方的な恵みで赦しの衣を着せてくださいます。あなたはすでに、新しくされているのです。  
富山小泉町教会と関丙<sup>ミンピョウジユン</sup>俊牧師(富山・富山市)

### 19日(日)ゼカリヤ書4章6～7節

「武力によらず、権力によらず／ただわが霊によって」。神殿再建の壁に挫折する指導者ゼルバベルへ、主はみ霊による完成を約束されました。あなたも自分の限界に絶望し、一人で抱え込んでいませんか。私たちが手放すとき、主の霊が働きます。すべてを成し遂げる方に委ね、平安のうちに歩みましょう。  
金沢教会と田口昭典協力牧師(石川・金沢市)

### 20日(月)ゼカリヤ書5章3～6節

穀物を量る大きな籠「エファ升」に悪が閉じ込められ、遠くへ運び去られる幻。主は私たちの間から、不誠実や隠れた罪を完全に取り除こうとされます。日常の中で、小さな嘘やごまかしに慣れていませんか。痛みを伴っても主の光に心を開きませんか。清められた心で、今日を誠実に生きましょう。

浜松教会と伊藤勝彦牧師(静岡・浜松市)

### 21日(火)ゼカリヤ書6章12～15節

「若枝」と呼ばれる救い主が真の平和を築くという約束。世が騒がしく理不尽に見えても、主はすべてを治めておられます。見えない未来に心を乱されていませんか。「ひたすら神である主の声に聞き従うなら」と主は語られます。あなたの未来は、真の王である主の確かなみ手の中に守られています。

川根教会と松下正巳牧師(静岡・榛原郡川根本町)

### 22日(水)ゼカリヤ書7章5～6節

神を慕うはずの「断食」。しかし主は「自分のために断食してきたのではないか」と問われました。私たちの信仰も、自分を満たす手段になっていないでしょうか。この痛い問いにハッとさせられます。何かをする前に、まずは主のあたたかな恵みの中に、ただ静かにとどまる一日でありますように。

清水栄光教会と大竹敏生牧師(静岡・静岡市清水区)

### 23日(木)ゼカリヤ書8章9～17節

主が共にいる麗しい世界が描かれています。現実はいまよりもいいときもありますが、主は「わたしが救い出し、祝福とする」と、熱情をもって恵みを与える決心をされました。あなたを愛する主の決意は揺るぎません。主の熱い愛が、今日のあなたの背中を力強く押し続けています。恐れなくてください。

静岡教会と松坂克世牧師(静岡・静岡市葵区)

### 24日(金)ゼカリヤ書9章9～10節

ここから「主イエス」を指し示す預言が続きます。ろばに乗って平和を宣言する王の到来。主の救いは武力ではなく、柔和さと謙遜によるものでした。あなたは今、自分の力で物事を思い通りにしようと焦っていませんか。心の武器をそっと置き、平和の君の優しい導きに今日をお任せしてみましよう。

三島教会と小川宏嗣ひろつぐ牧師（静岡・三島市）

### 25日(土)ゼカリヤ書10章2、8節

偽りの声に惑わされ、さまよう羊のような民。主は彼らを「**口笛を吹いて集める**」と約束されます。情報や他人の評価が溢れる現代、誰の声を信じればいいのか迷う日はありませんか。あなたを真の安らぎへ導くのは主だけです。騒がしい日常の中で、あなたを呼ぶ主の優しい声にそっと耳を澄ませてみませんか。

富士吉田教会と宮西宏明・宮西千晴各牧師（山梨・富士吉田市）

### 26日(日)ゼカリヤ書11章12～13節

良い羊飼いの恵みが、奴隷の代価「銀貨三十枚」で安く見積もられる悲しい預言。私たちは日常の忙しさの中で、主の計り知れない愛を「その程度」と軽く扱っていないでしょうか。尊い代価を払ってまであなたを愛し抜いた主のまなざしを、胸に深く刻む一日となりますように。

山梨教会と山田幸男ゆきお牧師（山梨・山梨市）

### 27日(月)ゼカリヤ書12章10節

「彼らは刺し貫いた者を見つめ、嘆き悲しむ」。主は私たちに恵みと祈りの霊を注がれます。自分の罪や不誠実さに直面するのは苦しいですが、その涙は主の十字架の愛と出会う場所です。強がるのはやめにして、ありのままの痛みを主のみ前に注ぎ出し、真の癒やしを受け取って進みましょう。

インドネシア伝道と野口日宇満宣教師のために

### 28日(火)ゼカリヤ書13章1、9節

罪を洗い清める泉が開かれ、火による練り清めが語られます。主は試練を通して私たちを金のように輝かせ「わたしの民」と呼んでくださいます。今、苦しい炎の中のように感じていますか。それはあなたを愛のゆえに本物へと練り上げるための炎。その向こう側で、主があなたを待っておられます。

国際ミッション・ボランティアのために(佐々木和之氏・ルワンダ)

### 29日(水)ゼカリヤ書14章9、20節

不思議な幻で励ましたゼカリヤ書の結びは「主は全地の王となられる」という壮大な預言です。馬の鈴にまで「**主に聖別されたもの**」と刻まれる完全な回復。世界の混乱や人生の不安の先には、神さまの絶対的な勝利が約束されています。この揺るがない希望に心の錨を下ろし、顔を上げて新しく踏み出しましょう。

シンガポール国際日本語教会 (IJCS) のために

### 30日(木)マラキ書1章2、8節

旧約最後の預言者マラキ。神殿再建から時が経ち、信仰が冷めた民に主は「わたしはあなたを愛してきた」と語ります。しかし民は傷ついた動物をささげていました。神さまとの時間が生活の「残り物」になっていませんか。私たちを愛してやまない主に、今日、心からの愛を真っ直ぐに返しませんか。

アジアバプテスト女性連合 (ABWU) のために

### 31日(金)マラキ書2章5、15節

主との契約は本来「命と平和」であり、純粋な敬い<sup>うやま</sup>が求められていました。しかし人びとは「慣れ」から主への誠実さを失っていました。7月を締めくくる今日、私たちの心はどうでしょうか。主の深い愛に立ち帰り、新しく始まる月も、あなたの歩みが豊かな恵みと平安で優しく包まれますように。

ウムチョ・ニャンザ(ルワンダ)のために